



美濃市曾代土地区画 整理事業を振り返って



美濃市曾代土地区画整理組合 理事長 西部 和美

1. はじめに

当地区は、美濃市役所より北へ約1 kmの距離に位置します。施行区域は、東側を国道156号、西側を清流長良川、南側を小倉山に囲まれた高低差のある箇所、区域のほとんどを農地が占めていますが、近年は農耕者も少なくなり、また、地区内への誘導路も整備されていないことから、人の入り込みも少なく荒れた状態でした。

当地区の地権者は、以前より誰もが「国道から入れるようにできないものか。」と模索をしていたのですが、ある時「日本道路公団中部支社（現在のNEXCO中日本）が東海北陸自動車道のトンネル工事残土の受け入れ場所を探している。」という話を耳にしました。そこで、早々に地権者集会を開催し、残土で土地の嵩上げを行ってはどうかと提案したところ、全員の賛同を得ることができたので、道路公団に対して交渉することとなりました。また、曾代自治会には、今回の経緯を説明するとともに、地元自治会としても協力をしてもらえないかとお願いし、了承をいただきました。これにより、道路公団との交渉を美濃市に依頼し、市からの働きかけにより土地の嵩上げが実現しました。

その際に、市から、当地区で“道の駅”の構想があるという説明を受け、この機会に土地区画整理事業を実施し、道の駅用地を保留地で確保し、事業費に充ててはどうかと打診があった

ので、再度地権者集会を開催、事業について相談し、土地区画整理事業の実施を決定しました。

2. 事業着手までの経過

当地区では、平成13年7月に研究委員会が発足、同年10月に推進委員会へ移行しました。同会では、国道156号からの進入を目指した交差点協議、地区内を分断するように流れる城下谷の改修協議や道の駅の協議など、事業化に際しての様々な検討課題がありましたが、この間に道路公団による土地の嵩上げが始まったことで、組合設立の気運が一気に高まり、地権者全員の同意のもと平成15年8月8日に組合を設立することとなりました。

3. 道の駅「美濃にわか茶屋」

道の駅“美濃にわか茶屋”は、国道156号と県道美濃洞戸線との分岐点に位置し、付近には、わが国最古の近代吊橋である美濃橋（国指定重要文化財）、物資の流通や交通の中心となった上有知湊（県指定重要文化財）の川湊灯台、さらには郡上・飛騨への物資集散地として繁盛した伝統的建造物群保存地区（国選定文化財）であるうだつの上がる町並みがあります。以前より美濃市では、道路利用者の『休息機能』、道路利用者や地域住民への『情報発信機能』、さらには「まち」と「まち」とが手を結びあう



『地域連帯機能』を併せ持つ道の駅を計画しており、この状況下における土地区画整理事業は、道の駅実現に向け願ってもないものでした。

しかし、平成16年10月の台風23号による長良川の洪水で、国道が曾代交差点以北で寸断されるなどの被害が発生しました。これを教訓に、災害時における地域住民の避難場所や国道利用者の待避所等となるべく『地域防災機能』としての整備も検討され、『防災道の駅』として国土交通省と美濃市とが一体となり整備をされたところであります。建物は、木造平屋建ての立体格子構造で、震度6強にも耐えられます。

開駅してからこれまで、観光客で賑わう光景には感無量の思いであります。皆さまも、ぜひ一度ご来場ください。



道の駅「美濃にわか茶屋」

4. 事業を振り返って

これまでには、残土受け入れによる土地の嵩上げ、国道156号の交差点協議、城下谷の河川改修や道の駅の建設など、様々な検討課題に面しましたが、当地区の土地区画整理事業を無事に終えることができたのも、地権者の皆さまのご理解とご協力によるところとともに、事業に対する熱意が大きかったところと確信いたしております。

最後になりますが、平成13年の研究委員会

から平成21年の事業完了までの8年間に渡り、格別なるご指導とご協力を賜りました岐阜県及び美濃市並びに社団法人岐阜県都市整備協会、更には道の駅用地として保留地を買い上げていただきました国土交通省に心から感謝申し上げます次第であります。

5. 事業の概要

- 事業の名称
美濃市曾代土地区画整理事業
- 施行者の名称
美濃市曾代土地区画整理組合
- 施行面積 33,878.25㎡
- 事業期間
平成15年8月8日～平成21年2月28日
- 施行区域
美濃市大字曾代字上岩本、字下岩本、字城下の各一部
- 総事業費 227,223千円
- 組合員数 24名
- 減歩率（台帳地積）

公共減歩率	5.69%
保留地減歩率	22.29%
合計減歩率	27.98%



事業費

収入(千円)		支出(千円)	
保留地処分金	207,520	工事費	214,155
市助成金	18,820	補償費	1,943
その他	883	利子	1,138
		事務費	9,987
合計	227,223	合計	227,223

土地の種目別施行前後対照表

種目	施行前		施行後	
	地積(㎡)	%	地積(㎡)	%
公共用地	2,465.80	7.28	8,856.25	26.14
民有地	26,530.65	78.32	19,106.72	54.40
保留地			5,915.28	17.46
測量増	4,881.80	14.40		
合計	33,878.25	100.00	33,878.25	100.00